

碩心

可認岳風吟學院詩吟日本
行發會風吟學院詩吟日本
川奈神 碩

現在 11月 1区 1地 1山 6年 返葉 大合	員数 179名 209名 43名 431名	(268号) 行 6年 11月 1区 1地 1山 6年 返葉 大合	者 萃 者 愛
---	-----------------------------------	--	------------------

詩吟雑感

長柄 宮本 明風

碩心會長柄支部に十二年間に亘りお世話になっております。先生、諸先輩の熱心な御指導により、元來音痴な私でしたが、どうやら人様の何分の一かの音声と音量で、自分なりに楽しく吟ずることができるようになり、感謝の日々を送っております。

詩吟との最初の出会いは、先住地の隣家に先生がいられ、勧めにより入会したものでした。幾許もなくして大会で「兵児の謡」を合吟することになり、未熟な私も共に特訓を受け、やがて日比谷公会堂に於ての初舞台となり、多勢の面前での吟に無我夢中でしたが、その時の感激、詩吟の素晴らしさに、到底忘れ得ぬものとなりました。そしてその後長柄に移りまして、早速長柄支部に入会させて戴き、現在に至っております。

最初の合吟に強烈な印象を受けた「兵児の謡」により、西郷隆盛と薩摩健児、即ち兵児との絆の如何に深かったかに感動せずにはいられませんでした。そのためか、西郷南州作

の「獄中感あり」「偶感」、又頼山陽作の「前兵児の謡」「城山」等、好んで練習し、吟じております。

数年前九州旅行の折、「孤軍奮闘圉を破つて還る…」の城山の詩に縁のある田原坂を、當時を偲びつつ見学し、熊本城、西郷自刃の地、城山、又上野に立つ庶民的な西郷さんの銅像とは対象的な、軍服姿の凛々しい鹿児島西郷像等を次々と見学しました。西南の役の兵児の奮闘の模様を目に浮べ、大東亜戦争に従軍し、生死を賭して戦った自分と重ねあわせ、武人として相通ずるものを感じざるを得ませんでした。

明治維新も遠き昔となり、大東亜戦争も既に五十年になんなんとしております。平和な世相となりましたが、祖国を厳守する凛然たる心構えがほしいものです。

齢八十：残り少ない人生を、詩吟を愛し、和やかに、そして楽しく日々を送りたいと念願しております。

※吟題「兵児の謡」は最近発刊の学風流教本では「兵児謡」となりましたので念の為。教本四巻49頁。

雑感

松和 南湖 収風

神奈川県本部創立四十周年記念吟道大会が開かれた「よこすか芸術劇場」から帰宅して、当日配布になった「碩心」を手にすると、一面に準師範認許、奥伝合格欄に、小生の名前が載っていたのには、驚きと感激を覚えられた。

師の宇都宮徳岳先生にご指導いただいたであつという間の七年が経ちましたが、詩吟を習いはじめた当初は、まさかここまで迎れるとは夢想だにしませんでした。これもひとえに、宇都宮先生のご熱心な教導をはじめ、吟友の皆さん、会の諸先生方の温かい励ましのお陰と感謝しております。

さて、四十周年記念吟道大会の式典の折に、「会旗の旗手の方が、急遽、所用ができたので脚持ちの代りを頼まれてくれないか、また脚持ちの感想を「碩心」に寄せて欲しい」との突然のお電話を先生から受け、小生ごとき若輩者にと一瞬ためらいましたが、せっかくの機会でもあるので有難くお引き受けいたし

ました。

当日、会場の拍手に迎えられて旗手の後に続いての入場行進を夢見ていましたが、事情が変わって式典の始まる直前の幕の合間に、舞台に脚を据えるというもので、これが小生のお手伝いとなりました。結局、会旗退場の際も舞台裏で、合吟コンクールを垣間見ながら待機し、脚を引き上げるといふことになり、場内を行進することは成りませんでした。

しかしながら、お手伝いのなかで碩心会の会旗に触れることが出来ただけでも光栄だつたと感激ひとしおです。また脚持ちを通して、旗手になられた戸塚の光岡洸岳先生に、親しくお近付きになれたことも大変な収穫だつたと思っております。

取り止めのない拙文となりましたが、今後とも吟詠に親しみながら、自己開発につとめてまいりますので、どうぞご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

故白井寿岳先生のご逝去を悼みて

松和 宇都宮 徳岳
去る十月十四日の夜、松井正岳庶務部長よ

り、白井寿岳先生の御逝去と通夜告別式の日程のお知らせを受け、びつくりすると共に御元氣の中にもう一度お話をしたかったと残念至極に存じました。先生とは碩心会の指導者仲間としてのお付き合いでしたが、特に碩心会或は神奈川県本部の吟行会で、その都度篤篤で御参列の先生御夫妻に、いつも心温まる御取扱いを頂いたのは忘れられません。又会誌「碩心」に先生が匿名で連載されていた「練吟メモ」の漢詩と詩吟に関する深い造詣と高い見識には深く感銘を覚え、毎号楽しみにしておりました。

更に私の生れ故郷である茨城県の茨城岳風会長梅原岳精先生の著作「詩吟春秋」と「詩吟蔓茶羅」を先生がお貸し下さったのが縁となり、帰郷の折に梅原先生宅を訪ねて歓談となり、意気投合した事になったのも忘れることが出来ません。

こうして私にとって先生は、いろいろな裨益することが多く最も畏敬する先生の一人でありました。体調を崩されて指導者講習会にお見えにならなくなってからは奥様の麗岳先生から先生の御様子を伺っておりましたが、表面では口喧嘩ばかりしているとの口振りの

中に、仲の良い処を聞かされておりました。
その先生のこんなに急な御逝去の報は誠に悲しくも惜しい思いであります。

告別式には私の親戚の告別式と重なりまして、県本部四十周年記念吟道大会の帰りがけて申訳ありませんでしたが、御通夜に伺ってお別れを致しました。前記の吟道大会で吟を聞き乍ら先生との諸々のことを思い、ふと左の拙歌が浮び、大変失礼とは存じました
が奥様に贈った次第であります。

故白井寿岳（輝夫）先生の御逝去を悼み
その姓名の折句を詠み込みで一首

知るや君 来世も君と 生きたしと
蔭で言つて。 男心を

御冥福をお祈り致します。 合掌

大船A 山口夕岳

香煙に烟りて供花の菊白し

通夜の経とぎれとぎれのすがれ虫

吟低く流るる通夜の露しとど

秋元梁岳

友逝いて思いははるか神武屯

同じ部隊にありしことも

大船A 岩崎岳恵

爽やかに源氏名乗りて馬上武者
流鏑馬のどよめき秋日昂ぶらす
若武者の一の矢秋日貫ぬけり
射抜かれし秋暑の的の真つ二つ
二の矢それ万の溜息秋暑し

地名、山川名の異稱

詩語に使用する地名、山川名などには昔から風雅な文字の異名、当字などがある。これらのことを一応心得ていると平仄の上にも非常に便利である。

例えば「日本」という語を用いる場合、日本、日域、日国、などは下の字が仄字であるが、これに反して、大東、日州、日東、扶桑などは下の字が皆平字ある。

東京…江戸、江都、江陵、東都

京都…京、平安、西京、西都、京洛

箱根…函山、函谷、函嶺、函關

富士山…土峰、不二、土嶺、不盡

鎌倉…鎌山、鎌城、鎌都

隅田川…墨水、墨河、澄江

相模…相州、相陽、湘山、湘南

広報部長の中村岳愛先生より十一月号の編集をお願いしますと言われ、青天の霹靂とはこの事、前から其のお話はあつた事はあつても、到底私などの様な浅学の者はその任にあらずと、いつも平身低頭、心に申訳ありませんとお詫びしつつ、お断りしつつ参りました。でもこの度ばかりは副を受けている以上お断りもならず、清水の舞台から飛び下りる様な気持で、お引受けはしたものの、さて、なんとしたのか、毎日考え込む日々ばかり…しみじみと中村先生の御苦勞を今更ながら思い知りました。

先ず第一に原稿です。碩心会員の方達がこんなに大勢いるのにと、名簿をながめて溜息ばかり。

身近な所でお願ひして助けて戴くより他なしと、宇都宮先生にお願ひしてお引受け戴いた時、先ずはうれしさにほっと胸をなでおろしました。

自分が実際に原稿を集め割付をして見て、どんなにか原稿が無いという事が大変であるかと、身に沁みて感じました。

どうか会員の皆様、是非原稿をお寄せ下さいます様にお願ひ致します。 山口記

◎ 行事予定

○葉山地区吟道温習会

日時・12月17日(土)10時より

場所・葉山町福祉文化会館

JR逗子駅、京急新逗子より山手廻り

バス乗車「葉山小学校前」下車。

~~~~~8~~~~~

## 県本部 40周年大会終る

10月16日(日)横須賀芸術劇場に於いて約千八百名参加のもと行なわれました。今回は始めて使用の広い会場で参加の皆さんも何かと大変だったようです。又役員の方々にとっては馴れぬ会場故、大変苦労されたようですが、おかげ様で無事終了することができました。御苦労様でございました。

## 葉山町文化祭詩吟、詩舞の会

10月22日(土)前夜来の心配していた雨もあがり、ホッとした気分に参加。文化会館の使用も回を重ねてきて、各係の役員の皆さんにより順調に事が運び、会員の皆さんの協力で盛會に無事終了しました。

## 葉山FM放送に出吟

5月15日、葉山FMスタジオで、逗子市詩吟詩舞連盟より、岡嶋岳風、小林信岳、村田の三人が放送に参加、岡嶋先生より、連盟の発足よりその後のあゆみ等説明あり、小林先生は吟を始めた動機など話され、私は、長く吟を続けてこられたのは…と問われ、漢詩が好きということもあるが、大きな声を出しストレス解消、明日への活力になるとの若い方達の声に励まされ、いつの間にか年を重ねたと答えました。まだ詩の心を吟ずるまでにはゆかず、奥の深さを感じ、最後に一吟して終りました。(村田澗岳記)

10月21日、同じくFM放送の依頼で、根岸岳萃、加藤岳相、中村が参加、葉山町詩吟詩舞連盟について組織団体名、代表者、会員数等問われ、つづいて詩吟を始めた動機等の話になり、根岸会長の昭和14年頃から始めたとの答にアナウンサーも驚いた様子。そのあと要望があり一吟づつ披露しました。つづいて詩舞とは…の間に、詩の内容を勉強理解した上で振付け表現、吟は耳から、舞は目から詩の心を伝えたいと答えました。(中村岳愛記)

10月号の(住所変更)(入会)の訂正、変更

(支部名訂正)

124 坂田昇岳の支部名・真澄を沼間に

650 中川美智子の支部名・沼間を真澄に

(電話番号の変更)

737 冨澤孝子 川崎市宮前区菅生ヶ丘

32-7-202

☎〇四四一九七七一九五八二

~~~~~8~~~~~

(住所変更)

640 渡辺信泉(新) 逗子市沼間五二二一八

☎〇四六八一七三一九九二七

(入会)

742 中村梯風(前) 葉山町堀内六七四

(風 早) ☎〇四六八一七五一二七二九

743 堤 五三 葉山町上山口一四五四

(唐木山) ☎〇四六八一七八一八〇二三

744 山之口浩 葉山町堀内二一〇〇一〇八

(下山口) ☎〇四六八一七五一二七六八

745 寺岡七男 葉山町堀内二一〇〇一四四

(下山口) ☎〇四六八一七五一一五八八七

(退会)

45 白井寿岳(死)(堀E) 209 池田延風 (星山)

702 北村 巖 (吟秀)